

令和3年度
渡嘉敷村観光誘客受入委託業務
報告書

令和4年3月
渡嘉敷村

目次

◆業務概要	2
◆業務実績スケジュール	3
1. 渡嘉敷村観光受入体制整備	
(1) 「渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー」企画運営業務	
①セミナー実施	4
(2) 「持続可能な観光の企画運営」業務	
①持続可能な観光に役立つセミナー実施	16
②セミナー基礎資料制作	46
③動画制作	47
(3) 観光データの基礎調査・分析について	
①WEB調査、事業者・村民アンケート	48
②観光振興計画の方向性調査	90
2. 渡嘉敷村観光誘客業務	
(1) 「イベント出展等のサポート」	
①11月 藤枝沖縄まつり（静岡）	109
②11月 離島フェア（沖縄）	110
・4月 マリンダイビングフェア（東京）	
・10月 横浜チャンプルーカーニバル（神奈川）	
・11月 ツーリズムEXPOジャパン（大阪）	
・11月 北海道旅行博（北海道）	
・11月 アイランダー（東京）	
・2月 九州旅行博覧会（福岡トラベラーズフェス）（福岡）	
(2) 「観光PRツールの制作及び活用方法」	
①とかしき島MAP（日本語）	111
②とかしき島MAP（英語）	113
③ポストカード	115
④A2ポスター	115
⑤村PR用ノベルティ	117
(3) 「既存の観光関連コンテンツ（デジタルコンテンツ）の活用方法」	118

◆ 業務概要

■ 事業目的・業務背景

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える 観光客が足を運ぶ人気の観光地である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の 国立公園に指定されたことにより、島を訪れる観光客が年々増加する傾向にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、今まで以上に外国人観光客の受入推進が求められている。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 ヵ年）」を策定した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光需要が大きく減少し、各地で外出や観光のあり方が見直されているなか、渡嘉敷村においても、従来までの観光誘客ではなく「Withコロナ・Afterコロナ」に対応できる観光コンテンツの造成や、「新しい生活様式」に対応した受入体制の構築が求められている。

本事業は、新たな価値観による旅行需要の変化を把握し、持続可能な観光誘客と的確な情報発信、安心・安全な体制を構築することで、渡嘉敷村を訪れる観光客の増加に繋げることを目的として実施する。

事業の提案については、「渡嘉敷村観光振興計画（平成29年度）」P30「3-3 基本施策と取組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果について明記する。また、企画提案及び事業の実施体制については、新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大による影響等も十分に留意した上で実施する。

■ 業務内容

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備

- ・「渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー」業務
- ・「持続可能な観光の企画運営」業務
- ・「観光データの基礎調査・分析」業務



2. 渡嘉敷村観光誘客業務

- ・「ターゲットごとに適した誘客施策」の提案について
- ・「イベント出展サポート」の提案
- ・「PRツールの制作及び活用方法」の提案について
- ・「既存観光コンテンツの活用（継続）」の提案について

<実施方針> ※先代から脈々と受け継がれた財産を次の世代に繋げる責任

地域住民（事業者含む）と連携・協働し、横断的な地域づくりによる新たな受入体制整備と社会情勢を的確に判断した誘客施策を通して、渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む

◆ 業務実績スケジュール

■ 業務実績スケジュール

業務内容	8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	1) 渡嘉敷村観光受入体制整備																							
「渡嘉敷村観光カイト育成セミナー」業務																								
(1) セミナー実施 基礎資料制作 動画制作																								
「持続可能な観光の企画運営」業務																								
(2) セミナー実施 基礎資料制作 動画制作																								
(3) 観光データの基礎調査・分析について WEB調査、事業者・村民アンケート 観光振興計画の方向性調査																								
2) 渡嘉敷村観光誘客業務																								
(1) 「ターゲットごとに適した誘客施策」																								
(2) -1 「イベント出展等のサポート」																								
7月→4月 マリンダイビングフェア (東京) ※4月に実施済																								
10月 横浜チャンプルーカーニバル (神奈川) ※12月に開催予定																								
11月 ツーリズム EXPO ジャパン (大阪) ※2023年秋に延期																								
11月 藤枝沖縄まつり																								
11月 離島フェア (沖縄) ※ハイブリッド 11月開催予定																								
11月 北海道旅行博 (北海道) ※開催予定なし																								
11月 アイランダー (東京) ※オンライン 11月開催予定																								
2月 九州旅行博覧会 (福岡トラベーズフェス) (福岡) ※ハイブリッド 2022年2月開催予定																								
(2) -2 「PRツールの制作及び活用方法」																								
とかしき島MAP(日本語)																								
とかしき島MAP(多言語)																								
ポストカード ※数回に分けての制作も可能																								
A2ポスター ※数回に分けての制作も可能																								
村PR用ノベルティ ※数回に分けての制作も可能																								
(3) 「既存の観光関連コンテンツ (デジタルコンテンツ) の活用方法」																								
3) 実施計画書、実績報告書、支払関係及び事業完了報告書の作成業務																								
(1) 実施計画書の作成																								
(2) 実績報告書の作成																								
(3) 支払関係及び事業完了報告書の作成																								

(1) 「渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー」企画運営業務

①セミナー実施

■ 業務実施内容

渡嘉敷村における観光ガイドの現状、観光客のニーズを調査し、観光ガイドの育成に繋がるセミナー実施。セミナーは、観光ガイドに必要な基礎的な内容を基本に、昨年度実施した同セミナー参加者のスキル向上に繋がる内容にて実施。セミナーで実施した内容が、より多くの島内事業者によって周知され、セミナー並びに本事業の取組みに理解が深まるよう、実施した内容を基礎資料や動画として制作した。

渡嘉敷村ガイド育成セミナー

～ガイドスキル・インタープリテーションとは？～
～ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感～

日時：令和4年3月5日（月）10：30～12：30

場所：渡嘉敷村青少年旅行村キャンプ場

話題提供者・進行役：ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 代表 小林 政文

全体進行：山城 栄 運営事務局（株式会社JTB沖縄）

令和4年 3/5（土）10:15～12:15予定

ワークショップ／フィールドワーク

～ガイドスキル・インタープリテーションとは？～

～ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感～

ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校・小林氏によるセミナー

時間	Lap	セミナー内容
10:15 ～ 10:20	5	事業の説明、自己紹介、今日の目的、今日の流れ
10:20 ～ 10:50	30	【屋内でのセミナー】 インタープリテーションについて（中級編） ・想いを伝える ・コミュニケーションが大切 ・対象者理解 ・聴く ・体験させる ・発見させる
10:50 ～ 11:10	20	休憩・移動
11:10 ～ 12:10	60	【屋外でのセミナー】 屋内でのセミナーを受けて フィールドワーク（現地研修）
12:10 ～ 12:15	5	振り返り、閉会

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

①セミナー実施

【セミナー開催案内チラシ】

令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

今年度ラスト
の開催！

村民皆様が対象！！

**渡嘉敷村ガイド育成セミナーの
開催について**

～ガイドスキル・インタープリテーションとは？～
～ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感～

❖ ホールアース自然学校の小林氏を進行役にセミナーやフィールドワークを開催！

本セミナーは観光ガイドに必要な基礎的な内容に加え、令和2年度に実施した同セミナー参加者のスキル向上に繋がる中級編の内容となっています。もちろん、初めて参加する方も大歓迎です。観光と持続可能なまちづくりの実践に向けて、対話形式のセミナーとフィールドワークを開催いたします。

村民の皆様 事業者の皆様 ご参加をお待ちしております！

❖ 開催日時

日時：令和4年3月5日（土）※サンゴの日です

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

※参加人数によっては中央公民館へ変更になる場合もございます。

時間：10：15～12：15予定

※ご都合の良い時間での参加も大歓迎！

※休憩を挟みながらのセミナーです。

※新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた上で、セミナーを開催いたします。

❖ 内容

■ガイドスキル・インタープリテーション中級編
話し方、聞き方、場作り等のインタープリテーション

■インタープリテーションを現場でリアルに体感
学んだ事を実際のフィールドにて実践

話題提供者・進行役



小林 政文（こばやし まさふみ）

ホールアース自然学校沖縄校
がじゅまる自然学校 代表

ジャパンアウトドアリーダーズ
アワード2018で優秀賞を受賞する
など地域とガイドをつなぐ活動に
取り組む。

**お申込方法や問い合わせ先については、
裏面をご確認ください。**

①セミナー実施

【セミナー開催案内チラシ】

お申込みフォーム

■ 3/5（土）開催 渡嘉敷村ガイド育成セミナーへのご参加

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

■ 事前アンケートへのご協力をお願いいたします！

アンケート項目	回答欄
本セミナーで聞いてみたい事や身につけたい事、期待する事は何か？	



その他、質問や疑問などをご自由にご記入ください。

例) やりたい事があるけど、どうやれば良いか分からず困っている。



← QRコードや下記URLからも回答できます！

<https://forms.office.com/r/awPAtk49Jm>

～お申し込み、問い合わせ先～

株式会社JTB沖縄 交流営業部 交流営業課 山城、大塚
098-860-7704 s_yamashiro@okw.jtb.jp

①セミナー実施

【配布資料】

次第

令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

渡嘉敷村ガイド育成セミナー

～ガイドスキル・インタープリテーションとは？～

～ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感～

セミナー進行次第

日時：令和4年3月5日（土）10：15～12：15 予定

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

※変更になる場合あり

※フィールドワークは屋外での実施

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明
3. 小林氏によるガイドスキルについて講話・振り返り、フィールドワーク
4. 本日のまとめ等
5. 運営事務局より事務連絡等
6. セミナー閉会
※詳細のタイムスケジュールは別紙を参照ください。
※休憩を挟みながらのセミナーとなります。

話題提供者・進行役：小林 政文（こばやし まさふみ）

ホールアース自然学校沖縄校

がじゅまる自然学校 代表

司会： 山城 栄（やましろ さかえ）

運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【配布資料】

1. 本次第
2. セミナータイムスケジュール
3. 令和2年度ガイド育成セミナー資料
4. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）
5. 「渡嘉敷村ガイド育成セミナー」パンフレット
6. アンケート
7. 肖像使用承諾書

※その他、当日追加になる場合もございます。

①セミナー実施

【配布資料】

セミナータイムスケジュール

渡嘉敷村ガイド育成セミナーの開催について

令和4年 3/5（土）10:15～12:15予定

ワークショップ／フィールドワーク

～ガイドスキル・インタープリテーションとは？～

～ガイドスキル・インタープリテーションを現場でリアルに体感～

ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校・小林氏によるセミナー

時間	Lap	セミナー内容
10:15 ～ 10:20	5	事業の説明、自己紹介、今日の目的、今日の流れ
10:20 ～ 10:50	30	【屋内でのセミナー】 インタープリテーションについて（中級編） ・想いを伝える ・コミュニケーションが大切 ・対象者理解 ・聴く ・体験させる ・発見させる
10:50 ～ 11:10	20	休憩・移動
11:10 ～ 12:10	60	【屋外でのセミナー】 屋内でのセミナーを受けて フィールドワーク（現地研修）
12:10 ～ 12:15	5	振り返り、閉会

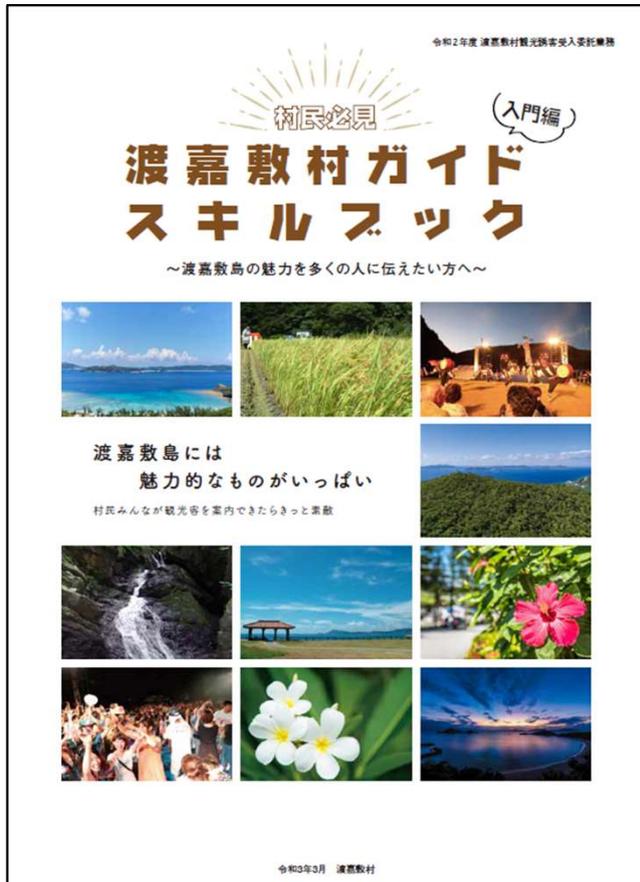
※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

①セミナー実施

【配布資料】

令和2年度ガイド育成セミナー資料

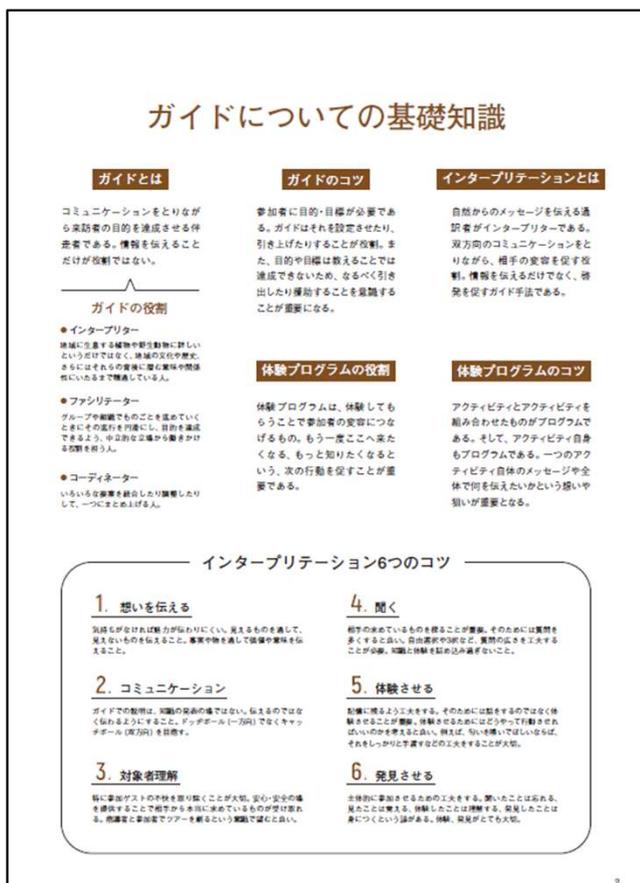
【表紙】



【1ページ】



【2ページ】



【3ページ】



①セミナー実施

【配布資料】

【4ページ】

【5ページ】

セミナー
第2回
名護市や本部町、西表島の陸域体験観光の事例共有、取り組み方について

2021(令和3)年 1月26日(火)

第一部 名護市、本部町の事例紹介 プログラム作りについて
名護市でエコツアーズを実施しているがじゅまる自然学校、本部町新築事業の事例を参考に、参加者の意見や知識を集めながら、渡嘉敷島に必要なプログラムを考案します。

第二部 事例紹介 西表島「くまのみ自然学校」
くまのみ自然学校は、西表島で自然体験と歴史文化のエコツアーズ教育旅行を企画・案内を行っています。海外の資源でプログラムを作成している事例を紹介し、高い期待がもたらされる千立集落にあり、自然体験プログラムを通して多くの人に「自然への感謝と畏敬」「人の知恵と勇気」を感じてほしいと2013年に設立。西表島には160のガイド事業者がいるが、くまのみ自然学校のプログラムは他と違って人気が高い。具体的なプログラムを紹介しながら、他社との違いを伝えてもらう。

くまのみ自然学校が他と違っている点
●プログラムにテーマを絞る
例え「不思議植物マングローブ」では、マングローブではなく身の回りの植物の話をし、仮説を立ててからフィールドワークへ。参加者自身が気づき、考え、自然を身近に感じてもらうことが目的。
●五感をフルで使う
「夜の森ウォーキング」では、生物の声を聞き、草、カエルの鳴き声、花の香りをかき、掌に落ちる、野生の感覚を取り戻してもらうことが目的。

今日の目的
●渡嘉敷島が目指したい観光について考える。
●継続可能な島の使い方を議論する。

本日の学びポイント
ワークショップは情報共有だけでなく、新しいものを作り出す場。参加者は生徒であり、先生でもある。教え合い、学び合う。プログラム作成は、目的と目標が重要になる。目標は、行為目標(体験)と成果目標(達成)に分けて考える。体験プログラムの質は、資源とプログラムガイド、それぞれの力を足したものだ。

講師からのメッセージ
今日は、参加者のみなさんに現在のツアーの一例を紹介しました。ツアーガイドで活動している事は、伝えたいものがゲストに質問して出るといった構成にする。知識を伝えたいという欲は抑える、ゲスト自ら気づいてもらえるようあまりしゃべりすぎないようにする、というのが実践では大切だと感じています。渡嘉敷島の参加者のみなさんを見ていて、自分のエリアでエコツアーズのガイドを始めたいという気持ちを感じました。島を良くしたいという気持ちが伝わってきました。

伊谷 玄
くまのみ自然学校

セミナー
第3回
ガイドスキル・インタプリテーションを学ぶ

2021(令和3)年 2月18日(木)・19日(金)

第一部 ガイドスキル・インタプリテーションとは?
インタプリテーションとは、自然や文化、歴史を分かりやすく紹介すること。また、その裏側にある「メッセージ」を伝えることも含まれます。今回は、その伝え方を学びます。

第二部 インタプリテーションを現場でリアルに体感
座学で学んだことをフィールドワーク形式で実践。最終に出て、教員ながら、聴力の説明方法や伝え方など、インタプリーターとして所作を身につけます。

説明しながら想いを伝える
伝えたい内容に気持ちを込め、目に見えない裏のストーリーを伝えることで物(事象)に価値と意味が加わり、聴力が伸びます。

コミュニケーションをとる
説明は、インタプリーターの発表の場ではない。言葉だけでは伝わらぬ。参加者に寄り添った説明が心がける。

参加者に体験をしてみよう
ツアー中、参加者の不安や不快感を取り除く。その為には周知の準備・努力が必要。安心・安全に体験してもらおう。

おもしろさを見えさせる
参加者が積極的に行動してもらえるよう工夫する。それが気づき、尊敬、理解が身につく良い体験につながる。

ポイント
①相手に思いを伝える
②コミュニケーションが大事
③対象者を理解する
④相手の声に耳を傾ける
⑤記憶に残る体験をさせる

講師からのメッセージ
渡嘉敷島でのセミナー参加者の印象は、全体的に良かった。また、周囲との関わり合いを感じました。その反面、まだまだ発展途上であり、自信も感じられませんが、可能な限り頑張ります。準備に渡嘉敷島の住人は十分に励んでいる。準備に渡嘉敷島の住人は、観光に必要なガイドスキルに興味を持って参加できることを嬉しく思います。

私は、このようなセミナーでも参加者と常に同等の立場で接します。研修の場を作り、ルールを作りあげていく。普段のツアーと同じです。自分の役割としては、方向を導きながら一緒に楽しむ。仲間をしながら、背中を少し押す。調整役として、結果がプラスの方向に導けたらと考えています。

小林 政文
エコツアーズガイド学校講師
がじゅまる自然学校

【6ページ】

【裏表紙】

良いプログラムがあれば魅力を感じてもらえる

まずは自分が変わることが大事

仲間で共に実践!

ゲストの心構えがよめるガイドに!

渡嘉敷島の目指す観光とは?

第三部では、意見交換会を開催。参加者から、真摯で前向きな声が多く飛び出しました。

変わりゆく環境を伝える

守りたい場所を
利用しながら守る

ガイド育成セミナー参加者の声から導きだした
「渡嘉敷島ガイドが目指す姿」

- 島に愛着と誇りを持ち、質の高いガイドングを届ける
- 美しく豊かな自然環境を大切に、魅力を伝える
- 五感を使った体験を通して、参加者と気持ちを感じあう

そうなるための意識、行動は…

- ガイド自らが学び体験することで変化、進化していく!
- 自然の輝きに敬意を払い、地域に寄り添うことで渡嘉敷島を再認識しよう!
- 島の仲間と意見や考えを共有し、一緒に作りあげていく!

参加者からの感想

嶋岡 美貴さん
ガイドはゲストが何を求めているのかを感じ取り、体験させることと学びました。セミナーでもっとも心に残っている言葉は「見えるものを透して見えないものを伝える」。同じ物でも、自分しか出来ない伝え方を出発点としてスキルアップしたいです。

金城 麗さん
スキルアップを期待して参加しました。各地域のトップガイドと交流を持てたのが刺激となり、ガイドが地域との接点を大切に、地域に根ざしている姿勢も見られました。今後、地域を活性化できる良いプログラムの開発ヒントをもらいました。

坂田 明子さん
今回のセミナーで、印象に残ったことは3つ。一つは、島の自然を深く知ること。普段の景色がグッと面白いもの変わったこと。二つ目は、仲間作り。島内外の人と興味や目指す未来を共有できたこと。三つ目は、ガイドの姿勢。伝えたいだけでなく、相手に何を求めているのか聞くこと、察することです。

総括

コメント
コロナ禍の島は、低迷していました。うまくいかない観光客の中で、それでも一部はこの時間を自分や島を築くチャンスだと捉えていたのでしょうか。新しい挑戦や研修参加等、そう思ったときは少しずつ手を出していきました。

当セミナーが村主導で開催されたのは、大きな意味を持ちます。また参加者もフタエィ島があったこと、若い世代が参加したことは今後につながる希望を示しています。続けることが肝心。講師陣、関係者、参加者に感謝したいと思います。

3回のセミナーを終えて
時代は瞬時に変わり、これまでの観光の形は大きく変化しなければならぬ状況となっている。この転換期をよりよい方向へ導く機会であると前向きに捉えるような参加者間の議論の中に、渡嘉敷島の未来をみよという気がした。

島の魅力は高だけではない。島も人も資源だ。そして、一番の資源は人である。資源を守りながら活用し、価値に変えることのできるガイドは今後の要に感じている。

今回のこの機会を知っていたとしても関わった人々を教えること、これからの各々の取り組みが楽しみだ。ただ、これを続けていくこと・話し合っていくことが必要。継続維持だけでは外部の影響を受けやすく、個々の動きだけでは限界があるからだ。

いつまでも豊かな渡嘉敷島として、持続可能な発展を祈っている。

最後に伝えたいことは/
教えるのではなく、興味を刺激し啓発する言葉だけを説明するのではなく、五感を使って体験してもらおう

- 体験したことは理解する、発見したことは身につく
- 聞いたことは忘れる、見たことは覚える
- 記憶に残る工夫、体験させる・行動させる
- 相手の求めているものを探る
- 知識の発表の場であってはならない
- 気持ちがなければ魅力もなくなる

渡嘉敷島でのセミナー参加者の印象は、全体的に良かった。また、周囲との関わり合いを感じました。その反面、まだまだ発展途上であり、自信も感じられませんが、可能な限り頑張ります。準備に渡嘉敷島の住人は十分に励んでいる。準備に渡嘉敷島の住人は、観光に必要なガイドスキルに興味を持って参加できることを嬉しく思います。

私は、このようなセミナーでも参加者と常に同等の立場で接します。研修の場を作り、ルールを作りあげていく。普段のツアーと同じです。自分の役割としては、方向を導きながら一緒に楽しむ。仲間をしながら、背中を少し押す。調整役として、結果がプラスの方向に導けたらと考えています。

小林 政文
エコツアーズガイド学校講師
がじゅまる自然学校

①セミナー実施

【配布資料】

本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える 観光客が足を運ぶ人気の観光地である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の 国立公園に指定されたことにより、島を訪れる観光客が年々増加する傾向にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、今まで以上に外国人観光客の受入推進が求められている。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 ヵ年）」を策定した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光需要が大きく減少し、各地で外出や観光のあり方が見直されているなか、渡嘉敷村においても、従来までの観光誘客ではなく「Withコロナ・Afterコロナ」に対応できる観光コンテンツの造成や、「新しい生活様式」に対応した受入体制の構築が求められている。

本事業は、新たな価値観による旅行需要の変化を把握し、持続可能な観光誘客と的確な情報発信、安心・安全な体制を構築することで、渡嘉敷村を訪れる観光客の増加に繋げることを目的として実施する。

事業の提案については、「渡嘉敷村観光振興計画（平成29年度）」P30「3-3 基本施策と取り組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果について明記する。また、企画提案及び事業の実施体制については、新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大による影響等も十分に留意した上で実施する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

地域住民（事業者含む）と連携・協働し、横断的な地域づくりによる新たな受入体制整備と社会情勢を的確に判断した誘客施策を通して、渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む

■ 今後の予定

※下記セミナーの様子を、後日ご動画配信する予定です。詳細は改めてご案内いたします。

■ 第三回 持続可能な観光に役立つセミナー

日時：令和4年2月21日（月）実施

内容：大竜ファーム・大沢氏を招いて、東京都・八丈島における事例紹介。島内業種を超えた横連携「チーム八丈」の取り組みなど。

■ 渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー

日時：令和4年3月5日（土）実施

内容：ホールアース自然学校 がじゅまる自然学校・小林氏の進行による対話形式セミナーとフィールドワーク。

①セミナー実施

【配布資料】

アンケート

渡嘉敷村ガイド育成セミナーアンケート

本日は渡嘉敷村ガイド育成セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）： _____

1. 本日のセミナーについて ※該当するいづれかに○をつけてください。

a. 参加してよかった
b. どちらでもない
c. 参加しなければよかった

2. 問1について「0.参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

a. 内容に興味が持てなかった
b. 内容に不満があった
c. その他 ()

※a~c を選んだ理由を具体的に記入ください！

3. セミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。また、選んだ理由もお聞かせください。

a. ガイド業に興味がわいた。
b. ガイド業をやってみたい。
c. 村内の事業者、村民同士で意見交換ができて、繋がりができた。
d. 村外で活躍するガイドとの意見交換ができて、繋がりができた。
e. 特に何も感じなかった。
f. その他 ()

※a~f を選んだ理由を具体的に記入ください！

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

~ご協力ありがとうございました~

肖像権使用許諾書

肖像使用承諾書

株式会社 JTB 沖縄
代表取締役 社長執行役員 杉本 健次 殿

私は、2022年3月5日に令和3年度渡嘉敷村観光誘客受入業務 渡嘉敷村ガイド育成セミナー参加時に撮影された私の肖像を、株式会社 JTB 沖縄が以下の条件で使用することを許諾します。

使用条件

1. 使用範囲（渡嘉敷村観光誘客受入業務）

- ◆ 事業報告書への掲載
- ◆ セミナー報告資料
- ◆ 上記を渡嘉敷村ホームページ等WEBサイト、Youtube、SNS への掲載

2. 期間

- ◆ 期間の定めなく使用

日付 2022年 3月 5日

住所 _____

署名 _____

【渡嘉敷村ガイド育成セミナー 参加者名簿】

	氏名	団体・企業・組織名	備考・その他	参加実績
1				○
2				○
3				○
4				○
5				○
6				○
7				○
8				○
9				○
10				○
11				
	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">個人情報のため お名前等はふせております。</p>			
	単位：名 延べ合計			10

①セミナー実施

【セミナーの様子】



①セミナー実施

【アンケート】

渡嘉敷村ガイド育成セミナーアンケート

本日は渡嘉敷村ガイド育成セミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方をはじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）： _____

1. 本日のセミナーについて ※該当するいづれかに○をつけてください。

- a. 参加してよかった
- b. どちらでもない
- c. 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

- a. 内容に興味を持てなかった
- b. 内容に不満があった
- c. その他（ _____ ）

※a～c を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

3. セミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。また、選んだ理由もお聞かせください。

- a. ガイド業に興味があった。
- b. ガイド業をやってみたい。
- c. 村内の事業者、村民同士で意見交換ができて、繋がりができた。
- d. 村外で活躍するガイドとの意見交換ができて、繋がりができた。
- e. 特に何も感じなかった。
- f. その他（ _____ ）

※a～f を選んだ理由を具体的にご記入ください↓

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

①セミナー実施

【アンケート集計結果】

延べ参加人数10名中7名から回収（回収率：70%）

Q1. 本日の協議会について

	項目	回答数	構成比
a	参加して良かった	7	100%
b	どちらでもない	0	0%
c	参加しなければよかった	0	0%
	合計	7	100%

Q2. Q1にて「参加しなければよかった」と選択された方へ、その理由をお聞かせください。

	項目	回答数	構成比
a	内容に興味が持てなかった	0	#DIV/0!
b	内容に不満があった	0	#DIV/0!
c	その他	0	#DIV/0!
	合計	0	#DIV/0!

※a～cを選んだ理由を具体的にご記入ください。

Q3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

	項目	回答数	構成比
a	ガイド業に興味があった。	2	13%
b	ガイド業をやってみたい。	1	6%
c	村内の事業者・住民同士で意見交換ができて、繋がりが持てた。	6	38%
d	村外で活躍するガイドとの意見交換ができて、繋がりができた。	7	44%
e	特に何も感じなかった。	0	0%
f	その他	0	0%
	合計	16	100%

※a～fを選んだ理由を具体的にご記入ください。

- ・ザマミ島の方と知り合えて、横の繋がりは嬉しいです。
- ・参加者の年齢が小学生から80才まで広いのと参加者の物知り度が高く、勉強になったし、やる気もできた。
- ・みなさんのすばらしいガイドテクニックがしれておもしろかった。やり方もおもしろくて、とても楽しかったし、知識が増えて良かった。
- ・もともとやってみたいと思っていたのでよけい興味がわきました。また島の人達のより深い意見が聞けてためになりました。
- ・大先輩の話もきけて、

Q4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。
また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

- ・急に中学生も参加させて頂きましたが、ガイドに興味がある子どもも確かに未来の人材として参加できると嬉しいです。大きな業者など、直接声かけ必要かなと思います。
- ・中学生などの子ども対象のやつも、やってみてほしいです。
- ・座間味でもやって欲しい。

(2) 「持続可能な観光の企画運営」業務

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

■ 業務実施内容

「豊かな自然環境や地域の特色を活かした持続可能な観光」、「Withコロナ・Afterコロナに向けた安心・安全な観光」を目指し、「長期滞在・高付加価値商品」の造成に繋がるセミナーを3回実施。セミナーで実施した内容が、より多くの島内事業者によって周知され、セミナー並びに本事業の取組みに理解が深まるよう、実施した内容を基礎資料や動画として制作。

第一回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー

「地域資源の売り方 ～隠れた資源への意味と価値のつけ方～」

日時：令和3年11月15日（月）18：00～21：00

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

話題提供者：上田 嘉通（一社）離島総合研究所 代表理事
伊藤 善行（有）小佐渡イトウ 代表取締役

全体司会：山城 栄 運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【セミナー開催案内チラシ】



令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

今年度 初開催

村民皆様を対象！！

第一回 持続可能な観光に役立つセミナー

開催について

「地域資源の売り方 ～隠れた資源への意味と価値のつけ方～」

◆地元佐渡で宿を経営しながら、観光コンシェルジュ、フォトグラファーとして活動する伊藤氏、離島総合研究所の上田氏を招いてのセミナーを開催！

本セミナーは「豊かな自然環境や地域の特色を活かした持続可能な観光」や「With コロナ・Afterコロナに向けた安心・安全な観光」を目指して実施しております。

第一回目のセミナーは、他離島事例紹介として佐渡島で活動する伊藤善行氏をゲストに招き、対話形式のセミナーを開催いたします。 **村民の皆様 事業者の皆様 ご参加をお待ちしております。**

◆開催日時

日時：令和3年11月15日（月）

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

※参加人数によっては中央公民館へ変更になる場合もございます。

時間：18：00～21：00頃までを予定

※ご都合の良い時間帯での参加も大歓迎！

※休憩を挟みながらのセミナーです。

※新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた上で、セミナーを開催いたします。

◆内容

- ◆隠れた魅力を発掘・商品化する取組について
- ◆情報発信等によって、島の魅力を向上させる取組について

お申込みフォーム

■ 11/15（月）開催 第一回 持続可能な観光に役立つセミナーへのご参加

項目	内容
お名前	
所属名（企業、団体、組織）	
お電話番号（携帯番号等）	
メールアドレス	

■ 事前アンケートへのご協力をお願いいたします！

アンケート項目	回答欄
本セミナーで聞いてみたい事や身につけたい事、期待する事はありますか？	
その他、質問や疑問などをご自由にご記入ください。	

例) やりたい事があるけど、どうやれば良いか分からず困っている。

← QRコードや下記URLからも回答できます！

<https://forms.office.com/r/UwPtsuLEgx>

今後のセミナー開催予定情報

■ 第二回 持続可能な観光に役立つセミナー

日時：令和3年12月4日（土）午後から

内容：これからの観光振興に重要とされる、自然や文化や地域を大事しつつ、観光を通じて地域資産を経済価値に結びつけていく。アドベンチャーツーリズムの考え方を通して、持続可能なデザインেশンのあり方を共有する。

■ 第三回 持続可能な観光に役立つセミナー

日時：令和4年1月下旬もしくは、2月上旬を予定

内容：東京都・八丈島では、島内事業者が連携したチーム八丈島が結成され、島内で観光客を共有し合い、滞在・消費を拡大させる仕組みを構築。事業者同士での信頼関係をどう構築したのか、紐解いていく。

■ 渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー ※令和2年度に引き続き開催決定！

日時：第一回 令和3年11月下旬もしくは、12月中旬 / 第二回 令和4年1月下旬 / 第三回 令和4年2月中旬

内容：ホールアース自然学校 がじゅまる自然学校・小林氏の進行による対話形式セミナーとフィールドワークを予定。

※上記セミナーの会場は、渡嘉敷村役場2階大会議室もしくは、渡嘉敷村中央公民館1階大会ホールを予定しています。

～お申し込み、問い合わせ先～

株式会社JTB沖縄 交流営業部 交流営業課 山城、大塚
098-860-7704 s_yamashiro@okw.jtb.jp

お申込方法や問い合わせ先については、裏面をご確認ください。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

次第

令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

第一回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー

「地域資源の売り方 ～隠れた資源への意味と価値のつけ方～」

セミナー進行次第

日時：令和3年11月15日（月）18：00～21：00

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

※参加人数で変更になる場合あり

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おざき のりお）より事業概要説明
3. 話題提供者のご紹介
4. 伊藤氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
5. 上田氏進行による講話を受けたワークショップ（意見交換・質疑応答・振り返り等）
6. 本日のまとめ等
7. 運営事務局より事務連絡等
8. セミナー閉会

※休憩を挟みながらのセミナーとなります。

話題提供者：上田 嘉通（うえだ よしみち）
（一社）離島総合研究所 代表理事

伊藤 善行（いとう よしゆき）
（有）小佐渡イトウ 代表取締役

司会：山城 栄（やましろ さかえ）
運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【配布資料】

1. 本次第
2. セミナータイムスケジュール
3. アンケート
4. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）
5. 「第二回 渡嘉敷村・持続可能な観光に役立つセミナー」パンフレット

※その他、当日追加になる場合もございます。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

セミナータイムスケジュール

第一回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー 「地域資源の売り方 ～隠れた資源への意味と価値のつけ方～」

令和3年 11/15（月）18:00～21:00予定

事例紹介・ワークショップ

話題提供者：（有）小佐渡イトウ・伊藤氏

（一社）離島総合研究所・上田氏

時間	Lap	セミナー内容
18:00 ～ 18:05	5	開会、事業概要説明
18:05 ～ 18:15	10	自己紹介、今日の目的、今日の流れ
18:15 ～ 19:25	70	伊藤氏による講話 ・ 佐渡島事例紹介 ・ 隠れた魅力を発掘・商品化する取組について ・ 情報発信等によって、島の魅力を向上させる取組について
19:25 ～ 19:35	10	休憩
19:35 ～ 20:45	70	上田氏進行による講話を受けたワークショップ (意見交換・質疑応答・振り返り等)
20:45 ～ 20:55	10	本日のまとめ
20:55 ～ 21:00	5	事務連絡、セミナー閉会

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える 観光客が足を運ぶ人気の観光地である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の 国立公園に指定されたことにより、島を訪れる観光客が年々増加する傾向にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、今まで以上に外国人観光客の受入推進が求められている。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 年）」を策定した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光需要が大きく減少し、各地で外出や観光のあり方が見直されているなか、渡嘉敷村においても、従来までの観光誘客ではなく「Withコロナ・Afterコロナ」に対応できる観光コンテンツの造成や、「新しい生活様式」に対応した受入体制の構築が求められている。

本事業は、新たな価値観による旅行需要の変化を把握し、持続可能な観光誘客と的確な情報発信、安心・安全な体制を構築することで、渡嘉敷村を訪れる観光客の増加に繋げることを目的として実施する。

事業の提案については、「渡嘉敷村観光振興計画（平成29年度）」P30「3-3 基本施策と取組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果について明記する。また、企画提案及び事業の実施体制については、新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大による影響等も十分に留意した上で実施する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

地域住民（事業者含む）と連携・協働し、横断的な地域づくりによる新たな受入体制整備と社会情勢を的確に判断した誘客施策を通して、渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む

■ 今後のセミナー開催予定

※下記セミナーの会場は、渡嘉敷村役場 2 階大会議室 もしくは、渡嘉敷村中央公民館 1 階大ホールを予定しています。

■ 第二回 持続可能な観光に役立つセミナー（確定情報）

日時：令和3年12月4日（土）午後から

内容：これからの観光振興に重要とされる、自然や文化や地域を大事しつつ、観光を通じて地域資産を経済価値に結びつけていく。アドベンチャーツーリズムの考え方を通して、持続可能なデスティネーションのあり方を共有する。

■ 第三回 持続可能な観光に役立つセミナー

日時：令和4年1月下旬もしくは、2月上旬を予定

内容：東京都・八丈島では、島内事業者が連携したチーム八丈島が結成され、島内で観光客を共有し合い、滞在・消費を拡大させる仕組みを構築。事業者同士での信頼関係をどう構築したのか、紐解いていく。

■ 渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー ※令和2年度に引き続き開催決定！

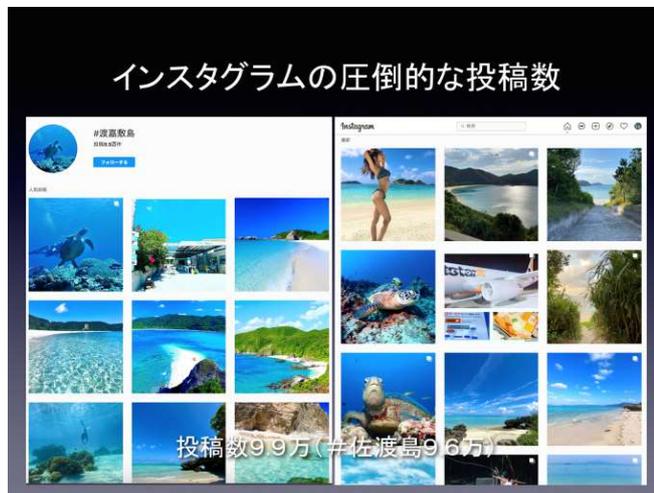
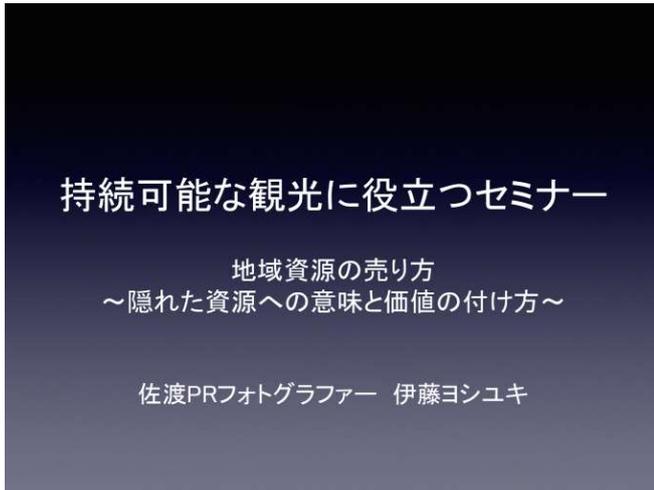
日時：第一回 令和3年11月下旬もしくは、12月中旬／第二回 令和4年1月下旬
／第三回 令和4年2月中旬

内容：ホールアース自然学校 がじゅまる自然学校・小林氏の進行による対話形式セミナーとフィールドワークを予定。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

セミナー講師資料 ※一部抜粋



アンケート

11/15 (月)開催 第一回持続可能な観光に役立つセミナー

アンケートご協力依頼

本日は第一回持続可能な観光に役立つセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへの協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前 (任意記入)： _____

- 本日のセミナーについて ※該当するいずれかに○をつけてください。
 - 参加してよかった
 - どちらでもない
 - 参加しなければよかった
- 問1について「a.参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。
 - 内容に興味が持てなかった
 - 内容に不満があった
 - その他 ()
※a～cを選んだ理由を具体的に記入ください！
- 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください (複数回答可)。また、選んだ理由もお聞かせください。
 - 渡嘉敷村の魅力を再発見するヒントになった。
 - 渡嘉敷村の魅力の発信力、伝え方のヒントになった。
 - 村内の事業者・村民同士や、村外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。
 - 自分自身がこれからアクションを起こすきっかけになった。
 - 特に何も感じなかった。
 - その他 ()
※ a～fを選んだ理由を具体的に記入ください！
- 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

肖像権使用許諾書

肖像使用承諾書

株式会社 JTB 沖縄
代表取締役 社長執行役員 杉本 健次 殿

私は、2022年3月5日に令和3年度渡嘉敷村観光誘客受入業務 渡嘉敷村ガイド育成セミナー参加時に撮影された私の肖像を、株式会社 JTB 沖縄が以下の条件で使用することを許諾します。

使用条件

- 使用範囲 (渡嘉敷村観光誘客受入業務)
 - ◆ 事業報告書への掲載
 - ◆ セミナー報告資料
 - ◆ 上記を渡嘉敷村ホームページ等WEBサイト、Youtube、SNS への掲載
- 期間
 - ◆ 期間の定めなく使用

日付 2022年 3月 5日 _____

住所 _____

署名 _____

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【第一回持続可能な観光に役立つセミナー 参加者名簿】

受付名簿：令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務「11/15（月）開催 第一回 持続可能な観光に役立つセミナー」

	氏名	団体・企業・組織名	備考・その他	参加実績
1	個人情報のため お名前等はふせております。			○
2				○
3				○
4				○
5				○
6				○
7				○
8				○
9				○
10				○
11				○
			単位：名 延べ合計	10

1. 渡嘉敷村観光受入体制整備 「持続可能な観光の企画運営」業務

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【会場設営・コロナ感染防止対策の様子】



① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【セミナーの様子】



①持続可能な観光に役立つセミナー実施

【アンケート】

11/15（月）開催 第一回持続可能な観光に役立つセミナー

アンケートご協力依頼

本日は第一回持続可能な観光に役立つセミナーにご参加いただき、誠にありがとうございました。以下のアンケートへのご協力をお願い致します。本アンケートは、今後のセミナー、会議の進め方はじめ本事業実施に関する参考データとして使用することを目的としています。収集した情報を公開する場合は、匿名にて行います。

お名前（任意記入）： _____

1. 本日のセミナーについて ※該当するいずれかに○をつけてください。

- a. 参加してよかった
- b. どちらでもない
- c. 参加しなければよかった

2. 問1について「c. 参加しなければよかった」と選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

- a. 内容に興味を持てなかった
- b. 内容に不満があった
- c. その他（ _____ ）

※a～cを選んだ理由を具体的にご記入ください↓

3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

また、選んだ理由もお聞かせください。

- a. 渡嘉敷村の魅力を再発見するヒントになった。
- b. 渡嘉敷村の魅力の発信方、伝え方のヒントになった。
- c. 村内の事業者・村民同士や、村外で活躍する講師の方々との意見交換ができて、繋がりが持てた。
- d. 自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。
- e. 特に何も感じなかった。
- f. その他（ _____ ）

※ a～fを選んだ理由を具体的にご記入ください↓

4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

～ご協力ありがとうございました～

①持続可能な観光に役立つセミナー実施

【アンケート集計結果】

延べ参加人数10名中5名から回収（回収率：50%）

Q1. 本日の協議会について

	項目	回答数	構成比
a	参加して良かった	4	80%
b	どちらでもない	1	20%
c	参加しなければよかった	0	0%
	合計	5	100%

Q2. Q1にて「参加しなければよかった」と選択された方へ、その理由をお聞かせください。

	項目	回答数	構成比
a	内容に興味を持てなかった	1	100%
b	内容に不満があった	0	0%
c	その他	0	0%
	合計	1	100%

※a～cを選んだ理由を具体的にご記入ください。

- ・渡嘉敷の魅力をもっと色々な方に発信出来たらいいな—と思いました。

Q3. 今回のセミナーに参加して感じたことや良かったこと、アクションを起こしたいと思ったこと等、該当するものに○をつけてください（複数回答可）。

	項目	回答数	構成比
a	渡嘉敷村の魅力を再発見するヒントになった	3	33%
b	渡嘉敷村の魅力の発信の仕方、伝え方のヒントになった	4	44%
c	村内の事業者・住民同士や、村外で活躍する講師の方々と意見交換ができて、繋がりが持てた。	1	11%
d	自分自身がこれからアクションを起こすキッカケになった。	1	11%
e	特に何も感じなかった。	0	0%
f	その他	0	0%
	合計	9	100%

※a～fを選んだ理由を具体的にご記入ください。

- ・子ども達にも、とかしきのみりよくをもっと伝えていきたい。
- ・七つの。(a.d.選択者)
- ・参加者やけに少なくて残念でした。野心ある若い人が参加できると良かったと思います。

Q4. 今後のセミナー、会議等について、進め方や開催時期・時間・場所のご要望があればお聞かせください。

また、村民が参加しやすい内容、方法等、その他お気づきの点をご記入ください。

- ・役場職員の参加が少なかった。観光業だけではなく役場職員も役割や関係があるという事をアピールして参加促したほうが良いなと感じました。
- ・早い時間ありがたい。席が密なのが気になる（前列に集まる指示あり）
- ・大変良かったです。又ね。
- ・自分自身も含め、参加者の募集に力を入れる必要と再確認した。次回自分の専門分野でもあるので責任を感じる。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

第二回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー

「～自然や文化を大事しつつ、地域を元気にしていくには？～
～新しい旅のスタイル「アドベンチャーツーリズム」とは？～

日時：令和3年12月4日（月）14：00～17：30

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室

話題提供者：岩浅 有紀 大正大学 地域構想研究所 准教授
國谷 裕紀 ATTA Official Representative Asia, 株式会社JTB 霞が関事業部

全体司会：山城 栄・井川 伸夫 運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【セミナー開催案内チラシ】



❖ 自然環境政策、アドベンチャーツーリズムを専門にする岩浅氏、日本・アジア地区におけるアドベンチャーツーリズムの先導役である國谷氏を招いてセミナーを開催！

本セミナーは「豊かな自然環境や地域の特色を活かした持続可能な観光」や「With コロナ・Afterコロナに向けた安心・安全な観光」を旨として実施しております。

第二回目のセミナーは、アドベンチャーツーリズム（以下、AT）という「新しい旅のあり方」を通して、『観光客数の「量」から、自然・文化の保全「質」の観光への転換』、『地域の滞在時間と消費額拡大』、『持続可能なデスティネーション（地域）のあり方』を皆で共有していきます。

村民の皆様 事業者の皆様 ご参加をお待ちしております！

❖ 開催日時

日時：令和3年12月4日（土）
場所：渡嘉敷村役場2階大会議室
※参加人数によっては中央公民館へ変更になる場合もございます。
時間：14：00～17：30頃までを予定
※ご都合の良い時間帯での参加も大歓迎！
※休憩を挟みながらのセミナーです。
※新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じた上で、セミナーを開催いたします。

❖ 内容

これからの観光振興に重要とされる、自然や文化や地域を大事しつつ、観光を通じて地域資産を経済価値に結びつけていく考え方を共有。

話題提供者



岩浅 有紀（イワサ ユウキ）

大正大学 地域構想研究所 准教授
自然環境政策研究センター 主任
全国アドベンチャーツーリズム協会 理事
2019年「アドベンチャーツーリズム」の発展を促す

自然を保護するだけでなく、自然を活用することで魅力ある、かつ、持続可能な経済を構築する地域再生プロジェクトを全国各地で取り組んでいる。



國谷 裕紀（クニヤ ユウキ）

ATTA Official Representative Asia
株式会社JTB 霞が関事業部 部長

日本・アジア地区におけるATTAの活動を担っており、Adventure Travel World Summit 2021北海道の開催に際して、会場のツアー設計・運営等の運営・指導を務める。

※ATTA(Adventure Travel Trade Association)とは、アドベンチャーツーリズムの発展を促すことを目的とした新しい旅のあり方を、世界最大のアドベンチャーツーリズムの国際団体です。

アドベンチャーツーリズム（以下、AT）とは「アクティビティ、自然、文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される旅行」をいいます。自然や文化といった強みはエコツーリズム等と共通項を持つものですが、アクティビティを通じて地域の文化と自然を体験することで、自身の成長・変革と地域経済への貢献を実現することを目的とした新しい旅のあり方です。

【申込み、問合せ先】(株) JTB 沖縄 交流営業課 山城、大塚 098-860-7704 s.yamashiro@okw.jtb.jp

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

次第

令和3年度 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務

第二回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー ～自然や文化を大事しつつ、地域を元気にしていくには？～ ～新しい旅のスタイル「アドベンチャーツーリズム」とは？～ セミナー進行次第

日時：令和3年12月4日（月）14：00～17：30 予定

場所：渡嘉敷村役場2階大会議室 ※変更になる場合あり

1. セミナー開会
2. 事業主体者 渡嘉敷村 観光産業課：尾崎 憲男（おぎき のりお）より事業概要説明
3. セミナー振り返り、話題提供者のご紹介
4. 岩浅先生による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
5. 國谷氏による講話（詳細のタイムスケジュールは別紙参照）
6. 講話を受けたワークショップ（意見交換・質疑応答・振り返り等）
7. 本日のまとめ等
8. 運営事務局より事務連絡等
9. セミナー閉会
※休憩を挟みながらのセミナーとなります。

話題提供者：岩浅 有記（いわさ ゆうき）
大正大学 地域構想研究所 准教授

國谷 裕紀（くにや ゆうき）
ATTA Official Representative Asia
株式会社JTB 霞が関事業部

司会：山城 栄（やましろ さかえ）・井川 伸夫（いかわ のぶお）
運営事務局（株式会社JTB沖縄）

【配布資料】

1. 本次第
2. セミナータイムスケジュール
3. 講師セミナー資料 2部
4. アンケート
5. 本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）
6. 「第二回 渡嘉敷村・持続可能な観光に役立つセミナー」パンフレット

※その他、当日追加になる場合もございます。

①持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

セミナータイムスケジュール

第二回 渡嘉敷村 持続可能な観光に役立つセミナー 「地域資源の売り方 ～隠れた資源への意味と価値のつけ方～」

令和3年 12/4（土）14:00～17:30予定

事例紹介・ワークショップ

話題提供者：大正大学 地域構想研究所 准教授・岩浅先生

ATTA Official Representative Asia 國谷氏

時間	Lap	セミナー内容
14:00 ～ 14:05	5	開会、事業概要説明
14:05 ～ 14:10	5	第一回セミナーの振り返り
14:10 ～ 14:15	5	自己紹介、今日の目的、今日の流れ
14:15 ～ 15:00	45	岩浅先生による講話 自然や文化を大事しつつ、地域を元気にしていくには？
15:00 ～ 15:15	15	質疑応答
15:15 ～ 15:30	15	休憩
15:30 ～ 16:15	45	國谷氏による講話 アドベンチャーツーリズム概要（市場、顧客等）
16:15 ～ 16:30	15	質疑応答
16:30 ～ 17:15	45	両氏によるワークショップ・振り返り・本日のまとめ
17:15 ～ 17:30	15	事務連絡、セミナー閉会

※参加者への通知無く、内容が変更になる場合もございます。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

本事業目的・実施方針資料（今後の予定等）

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の背景、目的

沖縄県渡嘉敷村は、世界でも有数のダイビングスポットの美しい海、沖縄本島からのアクセスの良さなどの理由により、年間 13 万人を超える 観光客が足を運ぶ人気の観光地である。

また、平成 26 年 3 月 5 日「サンゴの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の 国立公園に指定されたことにより、島を訪れる観光客が年々増加する傾向にある。特に外国人観光客は増加しており、今後さらなる伸びが期待できる。平成28年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、今まで以上に 外国人観光客の受入推進が求められている。

今後の全国各地の観光振興の取り組みによる観光客誘客競争の激化を見据え、前述した強みを活かし、持続的に渡嘉敷村の観光を維持・発展させるために、平成 29 年度は「渡嘉敷村観光振興計画（5 ヵ年）」を策定した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光需要が大きく減少し、各地で外出や観光のあり方が見直されているなか、渡嘉敷村においても、従来までの観光誘客ではなく「Withコロナ・Afterコロナ」に対応できる観光コンテンツの造成や、「新しい生活様式」に対応した受入体制の構築が求められている。

本事業は、新たな価値観による旅行需要の変化を把握し、持続可能な観光誘客と的確な情報発信、安心・安全な体制を構築することで、渡嘉敷村を訪れる観光客の増加に繋げることを目的として実施する。

事業の提案については、「渡嘉敷村観光振興計画（平成29年度）」P30「3-3 基本施策と取組みの体系」から、その事業との関連性、必要性、事業効果について明記する。また、企画提案及び事業の実施体制については、新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大による影響等も十分に留意した上で実施する。

■ 渡嘉敷村観光誘客受入委託業務の実施方針

地域住民（事業者含む）と連携・協働し、横断的な地域づくりによる新たな受入体制整備と社会情勢を的確に判断した誘客施策を通して、渡嘉敷村の魅力・価値を100年先に結（つむ）ぐ・繋げるよう取り組む

■ 今後のセミナー開催予定

※下記セミナーの会場は、渡嘉敷村役場 2 階大会議室 もしくは、渡嘉敷村中央公民館 1 階大ホールを予定しています。

■ 第三回 持続可能な観光に役立つセミナー

日時：令和4年1月下旬もしくは、2月上旬を予定

内容：東京都・八丈島では、島内事業者が連携したチーム八丈島が結成され、島内で観光客を共有し合い、滞在・消費を拡大させる仕組みを構築。事業者同士での信頼関係をどう構築したのか、紐解いていく。

■ 渡嘉敷村観光ガイド育成セミナー ※令和2年度に引き続き開催決定！

日時：第一回 令和3年12月下旬もしくは、1月中／第二回 令和4年1月下旬
／第三回 令和4年2月中旬

内容：ホールアース自然学校 がじゅまる自然学校・小林氏の進行による対話形式セミナーとフィールドワークを予定。

① 持続可能な観光に役立つセミナー実施

【配布資料】

セミナー講師資料 ※一部抜粋

「アドベンチャーツーリズム概要と 沖縄・渡嘉敷島における活用の方向性」

2021年12月4日

This document should be treated as confidential. It has been compiled for the exclusive internal use by our client and is not complete without the underlying data and the oral presentation. It may not be passed or copied or made available to third parties without prior written consent from Adventure Travel Trade Association. Adventure Travel Trade Association does not assume any responsibility for the completeness and accuracy of the statements made in this document.

アドベンチャーツーリズムの3要素と、その関係性

アドベンチャーツーリズムとは、ATTAの定義では、「自然とのふれあい」「フィジカルなアクティビティ」「文化交流」の3要素のうち、2以上が主目的である旅行とされる。

自然とのふれあい Interaction with Nature
フィジカルなアクティビティ Physical Activities
文化交流 Cultural Exchange

アクティビティは自然・文化を地域の方と深く楽しく「手段」である
[実施を通じて地域をより深く、楽しみながら地域の人々と双方共に自然と文化を知る]

従来の旅行産業の概念にとどまらない地域の中小事業者と地域住民に、経済・社会的な観点での持続可能な効果を残せること、同時にこの効果が地域の自然や文化を保護・活性化することに貢献していることが重要な要素

AT旅行者のプロフィール像

ATTAの調査によると、およそ80%が四年制大学卒業以上の学歴を持ち、約7割が年収75,000USD以上の年収水準(アメリカ平均年収は中央値で56,000USD程度)となっており、高学歴かつ所得水準の高い層がAT顧客像といえる。またマインドセットとしても進歩的かつオープンマインドで、健康や自然への意識が高い傾向にある。一定以上の所得水準ではあるものの、高級品や贅沢品(Hotline)を好むのではなく、旅行先で異文化・自然・アクティビティを軸として、どのような経験(Being)が得られるかを重視する。

北米AT旅行者 学歴
大学取次(カレッジ)卒業 89.5%
四年制大学卒業 42.8%
二年制(準)大学卒業 6.6%
Some college 9.3%
High school 1.7%
Some high school/diploma 1.2%

北米AT旅行者 所得水準 (2014年)
\$150,000 - \$200,000 8.4%
\$100,000 - \$149,999 12%
\$50,000 - \$99,999 33.9%
\$10,000 - \$49,999 44.7%
Under \$10,000 19.7%

AT旅行者の傾向
親戚で、(仕事・コネクションで)有能で、調和を重んじ、自立的でありたいと望んでいる
新しいアイデアに基づいた仕事を楽しみつつ自分を知識と考える
健康に気を配り、そのためには運動を欠かさない
その土地に根付いた伝統文化やコミュニティに関心が高く、旅行中は異文化交流を楽しみたいことを重視
高給商品を所有することに興味がなく他者や社会に貢献することを重要な価値観としている

渡嘉敷のAT視点での沖縄におけるATにおける位置づけ

ATWS2023年北海道大会を見据えた準備を踏まえ、本島エリアからアクセスし、沖縄全体の価値を最大化する優良層・渡嘉敷の磨き上げは沖縄全体として重要と認識。

世界遺産化により、屋久島・知床等の例なども踏まえつつ、リゾート活用手法、取り組み体制、コアとなる組織などが課題
全島のAT顧客回遊が大きな課題
新しい生活様式に基づいたAT世界観を体現できるフィールドを、ガイド・コネクターと連携構築が望ましい

渡嘉敷・渡嘉敷サンゴや透明度の高い海などより多岐にわたるOff the beaten pathのアドベンチャー体験を、ダイビング等のアクティブな体験とあわせ、本島の体験をより深いものとする重要エリアとしての位置づけや商品磨き上げが必要

沖縄北部
手つかず、ありのままの豊かな自然や地域の人々の生活をストーリーとともに高付加価値商品化するためのフィールドとして高い潜在力を擁する

沖縄中部
沖縄のアドベンチャー体験文化を継承しながら、日本・アメリカ・中国の影響を受けたチャーム文化や戦跡等による多様な歴史を盛り込んだストーリーラインの構築

マサリスによるオーバーツーリズムの弊害が見え始めたこと
COAショックより、根本的なビジネスモデル転換が求められている

自然を活かした地域創生 (12/4)
~自然や文化を大事にしつつ地域を元気にしていくためには~

大正大学 地域構想研究所 准教授
佐渡市総合戦略アドバイザー
岩浅 有記 (イワサ ユウキ)

自己紹介

1979/2 徳島県阿南市生まれ (東京一岡山一徳島)
1995年のサソノール発見
1992年の地球サミット (気候変動、生物多様性)

2003/4 環境省入省 (レンジャー職)

2007/4 トキの野生復帰 (佐渡自然保護官事務所)

2012/11 グリーンインフラ政策 (国土交通省出向)

2018/7 奄美・沖縄世界自然遺産、AT (沖縄奄美自然環境事務所)

2021/3 環境省退職→大正大学地域構想研究所採用

2021/9 佐渡市総合戦略アドバイザー

現在 自然を活用した自然創生 (AT、世界自然遺産、自然環境政策)

渡嘉敷島国立公園復興プロジェクトステップアッププログラム2025 概要

基本方針
①「カラマツループの自然」を賞賛できる持続可能な観光環境
②ストーリー性の構築
③サンゴ礁の保全

④「カラマツループ」の自然を賞賛できる持続可能な観光環境
⑤ストーリー性の構築
⑥サンゴ礁の保全

⑦「カラマツループ」の自然を賞賛できる持続可能な観光環境
⑧ストーリー性の構築
⑨サンゴ礁の保全

⑩「カラマツループ」の自然を賞賛できる持続可能な観光環境
⑪ストーリー性の構築
⑫サンゴ礁の保全

渡嘉敷島のアドベンチャーツーリズム (AT) の可能性

- これまでもあまりマサリス観光が行われていない (→久米、渡名喜、やんばる等との連携) (船便による人数限定一船・ヘリによる周遊、大規模な宿泊施設や箱モノ施設が少ない等)
- 農林水産業があり、付加的要素として泡盛・渡嘉敷もある、サウナも検討したい (新鮮な野菜、魚介類等の地元産の食事)
- 本土や都市部とは異なる独特の景観・自然環境や文化 (希少動植物、亜熱帯常緑樹林、海城景観等)
- 自然環境の保全・再生事業が行われている (重要なATコンテンツとなる)
- 利用のビジョン・ルールがあり、観光と自然保護が連動した基金の更なる活用 (観光利益の一部が自然保護に回る、自然を食い物にせず自然を再生し、高付加価値化)